



HIKVISION

HIKVISION DVR

DS-7200HUHI-F/N シリーズ

DS-7200HQHI-F/N シリーズ

セットアップガイド

目次

1. フロントパネル.....	3
2. 接続方法.....	7
3. 電源の ON/OFF.....	9
4. 初回起動時のパスワード設定.....	11
5. セットアップウィザード.....	13
6. セットアップウィザード以外の設定項目.....	20
7. DVR ライブビュー操作方法.....	24
8. DVR 録画設定.....	28
9. DVR 再生方法.....	38
10. DVR 記録映像のエクスポート方法.....	41
11. GUID のエクスポートとパスワードリセット.....	45
12. 初期出荷状態の復元.....	50
13. Hik-Connect の設定.....	51

1. フロントパネル

1. フロントパネルの説明

(1) DS-7200HUHI-F/N シリーズの場合



[写真は、DS-7200HUHI-F/N シリーズ]

フロントパネルの説明

番号	インターフェース	説明	
1	電源	機器の動作中に黄色で点灯します。	
	状態	HDD にデータを書き込む間やそこからデータを読み出す間、赤色で点滅します。また、SHIFT 機能が動作すると黄色で点灯します。	
	Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能していると、黄色で点滅します。	
2	コンポジットキー	SHIFT	数字または文字入力と、コンポジットキーの機能を切り替えます。
		1/メニュー	数字「1」を入力します。 メインメニューインターフェイスにアクセスします。
		2/ABC/F1	数字「2」を入力します。 文字「ABC」を入力します。 F1 ボタンを使用して、リストフィールドの項目がすべて選択できます。 PTZ コントロールモードでは PTZ ライトのオン/オフが行なえます。また、画像のズームにも使用されます。 ライブビューまたは再生モードでは、メイン出力とスポットビデオ出力を切り替えます。
		3/DEF/F2	数字「3」を入力します。 文字「DEF」を入力します。 F2 ボタンを使用すると、タブページが変更でき

			ます。 PTZ コントロールモードでは画像がズームイン できます。
		4/GHI/ESC	数字「4」を入力します。 文字「GHI」を入力します。 前のメニューに戻ります。
		5/JKL/編集	数字「5」を入力します。 文字「JKL」を入力します。 カーソルの前の文字が削除されます。 チェックボックスにマークを入れ、オン/オフス イッチを選択します。 再生で録画のスキップ動作を開始/停止します。
		6/MNO/再生	数字「6」を入力します。 文字「MNO」を入力します。 再生モードで再生インターフェイスにアクセス します。
		7/PQRS/ 録 画	数字「7」を入力します。 文字「PQRS」を入力します。 手動録画インターフェイスにアクセスします。 手動で録画を起動/解除できます。
		8/TUV/PTZ	数字「8」を入力します。 文字「TUV」を入力します。 PTZ コントロールインターフェイスにアクセス します。
		9/WXYZ/ プ レビュー	数字「9」を入力します。 文字「WXYZ」を入力します。 ライブビューでマルチチャンネル表示をし ます。
		0/A	数字「0」を入力します。 テキストフィールドの編集で入力方法が変更で きます。(大文字、小文字、アルファベット、記 号、数字での入力)。
3	方向		メニューで異なるフィールドや項目を切り替え ることができます。 再生モードで上下ボタンを使用すると、ビデオ の再生速度を調整することができます。

		<p>左右ボタンで、前後の録画ファイルを選択します。</p> <p>ライブビューモードではチャンネルを切り替えることができます。</p> <p>PTZ コントロールモードでは PTZ カメラの動きが制御できます。</p>
	<p>入る</p>	<p>あらゆるメニューモードで選択肢を確定します。</p> <p>チェックボックスにマークを入れます。</p> <p>再生モードではビデオファイルを再生または一時停止することができます。</p> <p>シングルフレーム再生モードでは一コマずつ進めることができます。</p> <p>自動切り替えモードでは自動切換を停止/起動します。</p>
4	<p>USB インターフェイス</p>	<p>USB マウスや USB ハードディスクドライブのような追加デバイス用の USB ポートです。</p>
5	<p>IR レシーバー</p>	<p>IR リモコン受信部。</p>

(2) DS-7200HQHI-F/N シリーズの場合



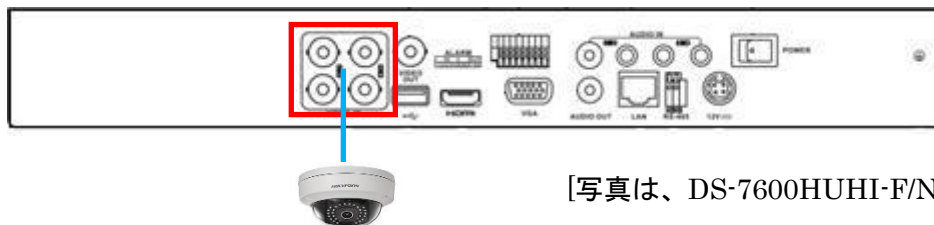
[写真は、DS-7200HQHI-F/N シリーズ]

フロントパネルの説明

番号	インターフェース	説明
1	電源	機器の動作中に黄色で点灯します。
	状態	HDD にデータを書き込む間やそこからデータを読み出す間、赤色で点滅します。
	Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能していると、黄色で点滅します。
2	IR レシーバー	IR リモコン受信部。
3	USB インターフェース	USB マウスや USB ハードディスクドライブのような追加デバイス用の USB ポートです。

2. 接続方法

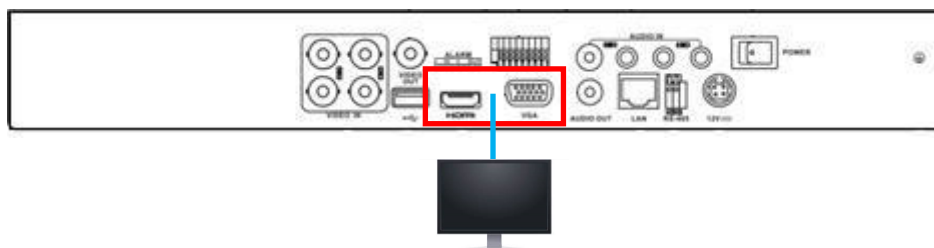
1. カメラとの接続



[写真は、DS-7600HUHI-F/N シリーズ]

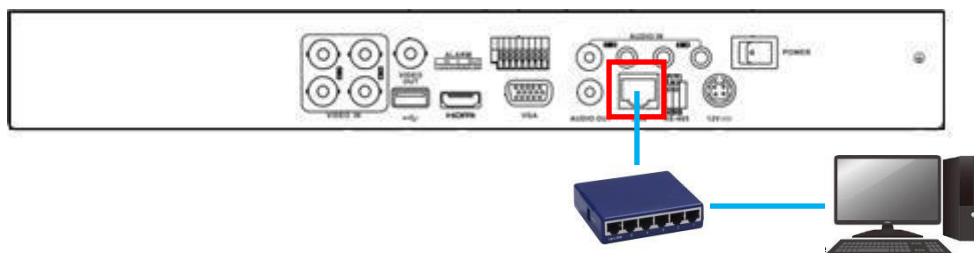
カメラとビデオ入力インターフェイスを同軸ケーブルで直結します。

2. モニターとの接続



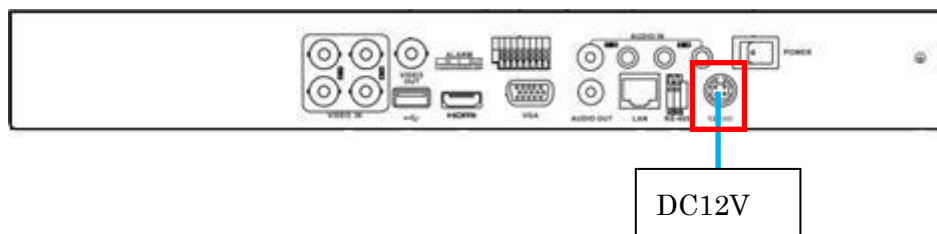
モニターとの接続は HDMI 又は VGA となります。排他使用となりますので、ご注意ください。

3. PC、上位LAN との接続



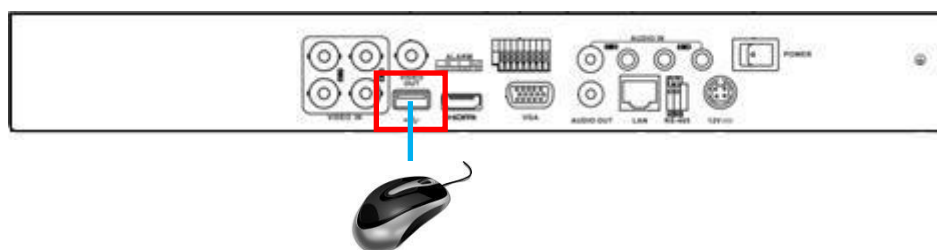
レコーダーのLAN ポートと PC を直接又は、HUB 経由で接続します。

4. 電源ケーブルの接続



付属の電源ケーブルを使用し、レコーダーに電源ケーブルを接続します。

5. マウスの接続



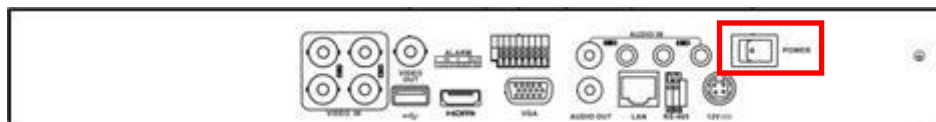
操作は全て付属のマウスで、行うことができます。

※：USB ポートは本体前面にもございますが、映像の取出しに USB メモリ等を接続するため、マウスは背面のUSB ポートに接続することをお勧めいたします。

3. 電源の ON/OFF

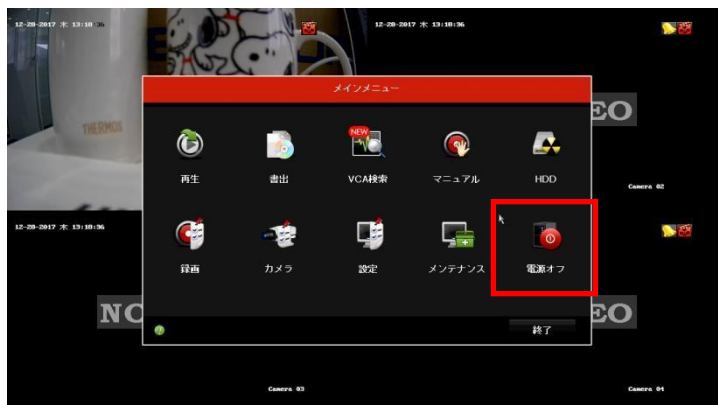
1. 電源、起動操作

録画レコーダー本体の起動方法は、本体背面のスイッチを入れることによりシステムが起動されます。



2. 電源 停止操作

(1) メニュー画面より「電源オフ」を選択します。



(2) 中央の「電源オフ」を選択します。



(3) 「Yes」 を選択します。



(4) 画面に「電源スイッチをお切り下さい。」と表示されたら本体背面のスイッチを OFF にします。

4. 初回起動時のパスワード設定

1. 初回起動時は下記画面が表示され DVR をアクティブにするためにユーザーが各自でパスワードを設定する必要があります (※: パスワードは忘れないようにご注意ください)。



2. パスワードは 2 度入力します。

パスワードは下記の要件を満たす必要があります。

- ・ 8 文字以上 15 文字以内

※: 数字、アルファベット小文字・大文字、特殊文字 (ドット等) から 2 種類以上の組み合わせパスワードが適切なものであると、インジゲーターが緑色になり「強い」と表示されます。

「弱い」や「中」でも登録は可能ですが、セキュリティレベル向上のため「強い」パスワードを設定することをお勧めします。

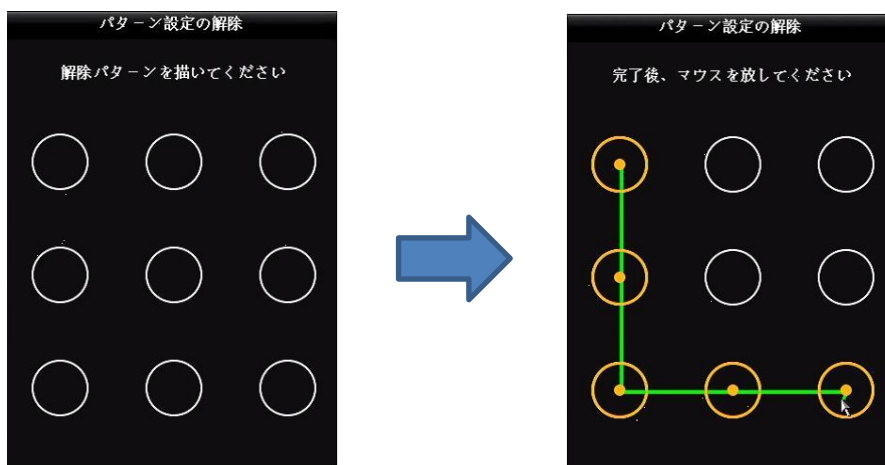


※: パスワードを 8 文字以上 15 文字以内に設定して下さい。

- 「OK」ボタンを押し、下の画面が表示されたらアクティベート完了です (The device is activated)。パスワードリセット用 GUID をエクスポートする場合は「Yes」を、後で行う場合は「No」を選択して下さい (GUID の詳細につきましては P.47 「2. 「GUID」によるパスワードリセット」を参照して下さい)。



- 次に解除パターンを設定します。マウスでクリック&ドロップしてパターンを決めて下さい (最低 4 点必要)。



入れ替え

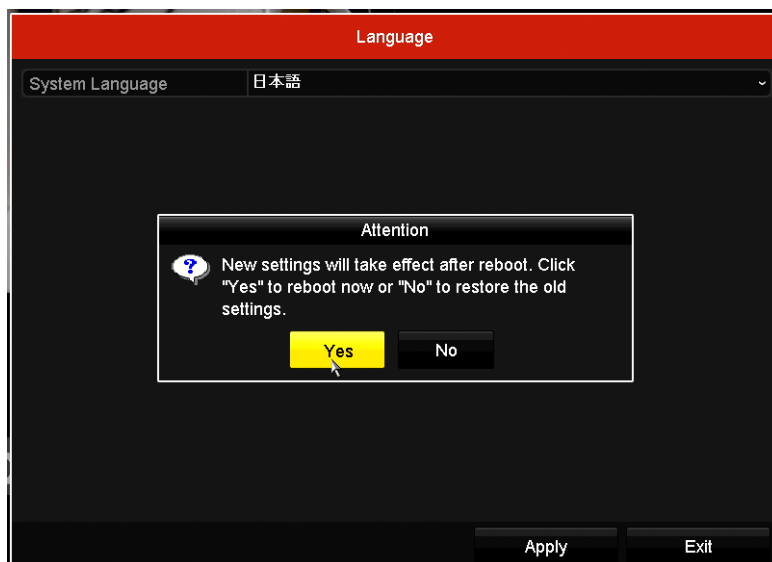
- 確認の為もう一度同じパターンを設定して完了です。
※ : パスワードと解除パターン及びパスワードリセット用 GUID のエクスポートは、メニュー>設定>ユーザー設定にて各ユーザーの編集でも操作可能です。



5. セットアップウィザード

1. システム言語を選択すると、再起動をして設定を反映させますか？と聞かれるので「Yes」を選択します。

再起動後、システム言語が反映されているのを確認し、「適用」ボタンを選択します。



2. 起動時のセットアップウィザードの有り/無しを選択します。
次回の起動時からは表示させない場合は、チェックを外し、「次」ボタンを選択して下さい。



3. ログインパスワードを入力します。ウインドウを選択するとソフトキーボードが表示されますので、これを使ってパスワードを入力し、「次」ボタンを選択します。
パスワードを変更する場合は「新しい管理者パスワード」にチェックを入れると新しいパスワードが入力出来るようになります。
必要に応じてパターン解除の有効化、解除パターンの変更、パスワードリセット用GUIDのエクスポートを行って下さい。
※：変更したパスワードは忘れない様にご注意下さい。
※：初回起動時のパスワード設定をした後、続けてセットアップウィザードに進んだ場合は表示されません。
※：「操作時パスワード要求」が無効になっている場合は表示されません。



4. タイムゾーン、時刻の設定を確認し、「次」ボタンを選択します。
 タイムゾーン、時刻が誤っている場合は、こちらで修正して下さい。
 実際の画面内に表示される日付の形式も指定できます。

YYYY=年、MM=月、DD=日



ウィザード	
タイムゾーン	(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌、ソウル
日付の表示形式	MM-DD-YYYY
システムの日付	12-28-2017
システム時間	13:33:08

前 次 終了

5. ネットワーク情報を設定します。
 上位LAN や PC を接続しない場合はそのまま「次」ボタンを押して下さい。
 接続する場合は、“IPv4 アドレス”、“IPv4 サブネットマスク”を最低限入力して下さい。
 必要に応じて“IPv4 デフォルトゲートウェイ”や“DNS サーバ”を設定して下さい。



ウィザード	
NICタイプ	10M / 100M 自動調整
DHCP有効	<input type="checkbox"/>
IPv4アドレス	192 .168 .10 .77
IPv4 Subnetマスク	255 .255 .255 .0
IPv4 Gateway	. . .
Enable DNS DHCP	<input type="checkbox"/>
優先DNSサーバ	
代替DNSサーバ	

前 次 終了

6. Hik-Connect の設定を確認し、「次」ボタンを選択します。
 使用しない場合はチェックを外して下さい（Hik-Connect の詳細につきましては P.51
 「13. Hik-Connect の設定」を参照して下さい）。



ウィザード	
有効	<input type="checkbox"/>
アクセスタイプ	Hik-Connect
サーバアドレス	dev.hik-connect.com <input type="checkbox"/> カスタム
ストリーム暗号化有効	<input type="checkbox"/>
検証コード	
ステータス	オフライン
<input type="button" value="前"/> <input type="button" value="次"/> <input type="button" value="終了"/>	

7. ポートの設定を確認し、「次」ボタンを選択します。



ウィザード	
サーバポート	8000
HTTPポート	80
RTSPポート	554
UPnP有効	<input type="checkbox"/>
DDNS有効	<input type="checkbox"/>
DDNSタイプ	DynDNS
エリア/国	カスタム
サーバアドレス	
ドメイン名	
ステータス	DDNS使用禁止
ユーザー名	
パスワード	
<input type="button" value="前"/> <input type="button" value="次"/> <input type="button" value="終了"/>	

8. HDD の初期化を行う場合はチェックをいれて、「初期化」ボタンを選択します。
初期化を行わない場合はそのまま「次」ボタンを選択します。



9. IP カメラの追加設定を確認し、「次」ボタンを選択します。



10. 録画設定

録画方法を選択します。常時録画の場合は、「スケジュール録画」、動体検知録画の場合は「動体検知録画」ボタンを選択します。

全てのカメラに対して同じ設定を入力する場合は、表示される小ウインドウで「Yes」を選択して下さい。



※：セットアップウィザードではカメラの解像度やフレームレート等の設定は出来ず、自動的にカメラの最高値に設定されます。必要な録画期間の映像を残すためには P.28 「1. 録画条件を設定します。」を参照して適切な設定を行って下さい。

6. セットアップウィザード以外の設定項目

1. ライブビュー上で右クリックをします。



2. 上から二番目の「メインメニュー」を選択すると、パターン入力画面が表示されますのでドラッグで入力します。ここで右クリックするとログイン画面に切り替わるのでパスワード入力でログインする事も可能です。

※：管理者のほかにログイン ID を設定した場合は、プルダウンで ID を切り替えて下さい。

※：「操作時パスワード要求」が無効になっている場合は表示されません。



3. DVR のネットワーク設定方法

(1) メニュー画面より「設定」を選択します。



(2) 右側メニューの「ネットワーク設定」→「基本設定」を選択します。



- (3) デフォルトでは「DHCP 有効」にチェックが入っています。
DHCP を利用しない場合はチェックを外して下さい。



- (4) IP アドレス・サブネットマスク等の手動設定を行って下さい。



- (5) 設定が完了したら「適用」ボタンを選択します。

4. ライブビュー画面の設定

- (1) メニュー画面より「設定」を選択します。



- (2) 右側メニューの「ライブ表示」→「基本設定」を選択し、設定を行います。

- ① ビデオ出力を設定します。
- ② ライブビューに表示するカメラ映像の表示形式を設定します。
- ③ 「オートスイッチ開始」が有効になっている場合のカメラ映像の切り替え間隔を設定します。
- ④ ライブビューモードで選択したカメラ映像の音声出力を有効化/無効化します。
- ⑤ 音声出力の音量を調整します。
- ⑥ イベントビデオを表示する出力を設定します。利用可能な場合、イベント発生時にビデオ出力インターフェイスから異なるビデオ出力を選択できます。
- ⑦ アラームイベント画面を表示する時間です。



7. DVR ライブビュー操作方法

カメラを繋いだ状態で電源を入れると、自動的にライブビューの画面となります。

1. 簡易メニューの説明

ライブビュー上で右クリックをすると、簡易メニューが表示されます。

メニューから再生、録画の設定、分割画面の設定等さまざまな設定を行えます。



簡易メニューの説明

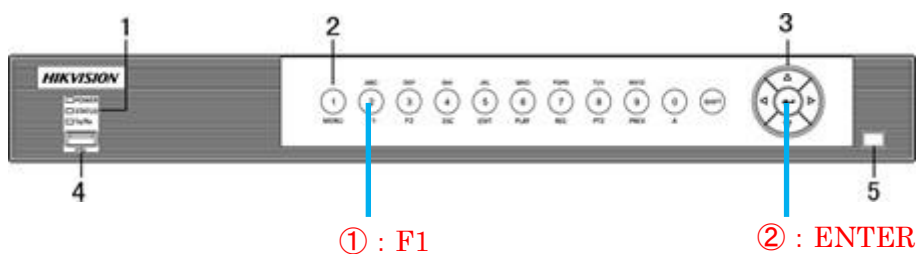
項目	説明
ショートカットメニュー	よく使用する項目を表示します。
メインメニュー	メインメニューを表示します。
一画面表示	ドロップダウンリストから選択したカメラを全画面表示します。
分割表示	ドロップダウンリストからカメラの分割表示の変更を行います。
前画面	ひとつ前のカメラNo.のカメラを表示します。
次画面	ひとつ前のカメラNo.のカメラを表示します。
オートシーケンス開始	画面の自動切り替えを有効/無効にします。
録画開始	全てのカメラで終日通常録画や動体検知録画を開始します。
IPカメラ追加	自動及び手動で IP カメラを追加します。
再生	選択したカメラの再生を行います。
PTZ 制御	カメラのパンチルトズームを操作します。
映像モード	標準、明るさ、飽和、鮮やかさの 4 つの映像モードを選択できます。
補助モニター	補助出力モードに切り替え、メイン出力の操作が無効になります。

補助モニターについて

DVR が出力インターフェイスの接続を確認して、メインと補助の出力インターフェイスを定義します。補助出力が有効化されている場合、メイン出力の操作は一切できず、補助出力のライブビューモードでの基本操作がいくつか可能となります。

メインと補助の優先度レベルは HDMI > VGA > CVBS となります。

※：補助出力が接続されていない状態で「補助モニター」を選択した場合、フロントパネルの F1 (①) を押した後に ENTER (②) を押して下さい。メイン出力に切り替わり、操作が可能となります。



2. クイック設定ツールバーの説明

各カメラの画面上で左クリックするとクイック設定のツールバーが表示されます。



クイック設定の説明

番号	説明
①	手動録画を有効にします。
②	簡易再生を行います。
③	オーディオ/ミュートの ON/OFF の切り替えを行います。
④	PTZ 制御を行います。
⑤	デジタルズームを行います。
⑥	画像の輝度、コントラスト、彩度、色彩の設定を行います。
⑦	顔検知を有効にします。
⑧	チャンネル情報を表示します（フレームレート、ビットレート、解像度、コーデック）。
⑨	クイック設定を終了します。

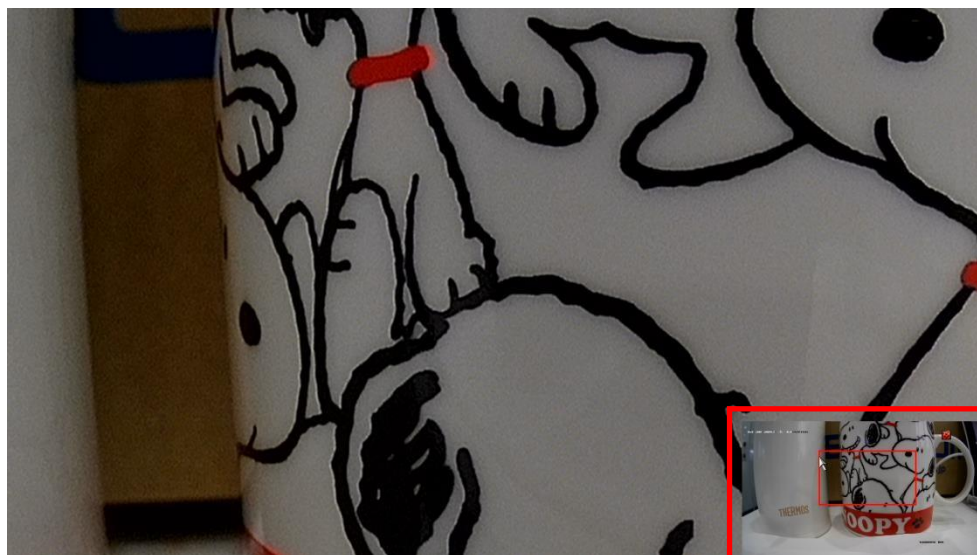
3. デジタルズームの操作方法

- (1) クイック設定のツールバーからデジタルズーム (⑤) を選択して下さい。

下記の画像のように画面が切り替わります。

右下の四角枠の中の赤枠がズームアップされている部分になります。

ズームアップされている部分を変えたい場合はドラッグして下さい。



8. DVR 録画設定

1. 録画条件を設定します。

(1) メニュー画面より「録画」を選択します。



(2) 「録画設定」を選択します。



- (3) メインストリームの解像度、フレームレート等の設定を行います。メインストリームは 1 画面のライブ表示の際に使用される映像です。
- ① 解像度の設定項目です。プルダウンにて選択して下さい。
 - ② 映像の圧縮の度合いを指定します。高くするほど圧縮率が低くなり、画質は良くなりますがデータ量が増えます。
 - ③ フレームレート (秒当たりのコマ数)
※：一般的には 1~10 程度までを設定します。
 - ④ 最大ビットレートを指定します。秒当たりのデータ量の上限を設定します。一般的には、⑤の数値の範囲内に設定します。
 - ⑤ 最大ビットレート推奨範囲を表します。
 - ⑥ 動体検知やアラーム検知等の際の録画条件を設定します。特に使用しない場合は、「メインストリーム (スケジュール)」と同じ設定を入力して下さい。

入力が完了したら、「適用」ボタンを選択して下さい。設定が反映されると、「適用」ボタンが選択できなくなります。同様の設定を他のカメラにも適用するため、⑦でカメラを切り替えて下さい。

録画 サブストリーム		
カメラ	⑦ [A1] Camera 01	
入力解像度	1080P30	
録画設定	メインストリーム (スケジュール)	メインストリーム(イベント)
記録形式	映像 & 音声	映像 & 音声
解像度	① 1920*1080(1080P)	1920*1080(1080P)
ビットレートタイプ	CBR	CBR
画質	② 中	中
フレームレート	③ フルフレーム	フルフレーム ⑥
最大ビットレート設定	基本設定	基本設定
最大ビットレート (Kbps)	④ 4096	4096 ⑥
最大ビットレート推奨範囲	⑤ 3840~6400(Kbps)	3840~6400(Kbps)
最大平均ビットレート (Kbps)	2048	2048
H.264+を有効化	<input type="checkbox"/>	
詳細設定		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> コピー 適用 戻る </div>		

- (4) サブストリームの解像度、フレームレート等の設定を行います。
 サブストリームは分割画面のライブ表示の際に使用される映像です。画面上部の「サブストリーム」を選択して下さい。
 その他はメインストリームと同じ要領で各カメラに設定して下さい。
 ※：各レコーダーによって異なりますが、フレームレートはメインストリームと同程度を設定して下さい。



※：メインストリーム、サブストリームとも、最大ビットレートの設定は注意して行って下さい。レコーダーのモデルにより、最大ビットレートの合計値の許容範囲が決まっており、これを超えて設定された場合、ライブ映像が表示されない等の症状が発生する場合があります。

※：最大ビットレートの範囲は、⑤「最大ビットレート推奨範囲」以下の設定も可能です。ただし、この設定を行った場合、データ容量は少なくなりますが、ブロックノイズ等が発生し、本来の解像度の効果を発揮できない可能性がありますので、ご注意下さい。

- (5) 詳細設定による高度な設定を行います。
- ① スケジュールされた時間やイベントの前に録画する時間を設定します。例えば、10:00 にアラームが録画を起動する場合、録画前時間を5秒に設定していると、カメラが 9:59:55 に録画を開始します。
 - ② スケジュールされた時間やイベントの後に録画する時間を設定します。例えば、11:00 に録画起動アラームが終了する場合、録画後時間を 5秒に設定していると、11:00:05 まで録画します。
 - ③ 有効期限は録画ファイルを HDD に保管しておく最大時間で、期限が来ると、ファイルが削除されます。有効期限を 0 に設定すると、ファイルが削除されないようにできます。
 - ④ 音声録音の有効化/無効化を設定します。
 - ⑤ 録画をメインストリーム/サブストリームのどちらで行うかを設定します。サブストリームを選択すると、同じストレージ容量で、より長く録画できます。

詳細設定		
プレ録画	①	5秒
ポスト録画	②	5秒
ファイル有効期限(日)	③	0
音声記録	④	<input checked="" type="checkbox"/>
ビデオストリーム	⑤	メイン

OK 戻る

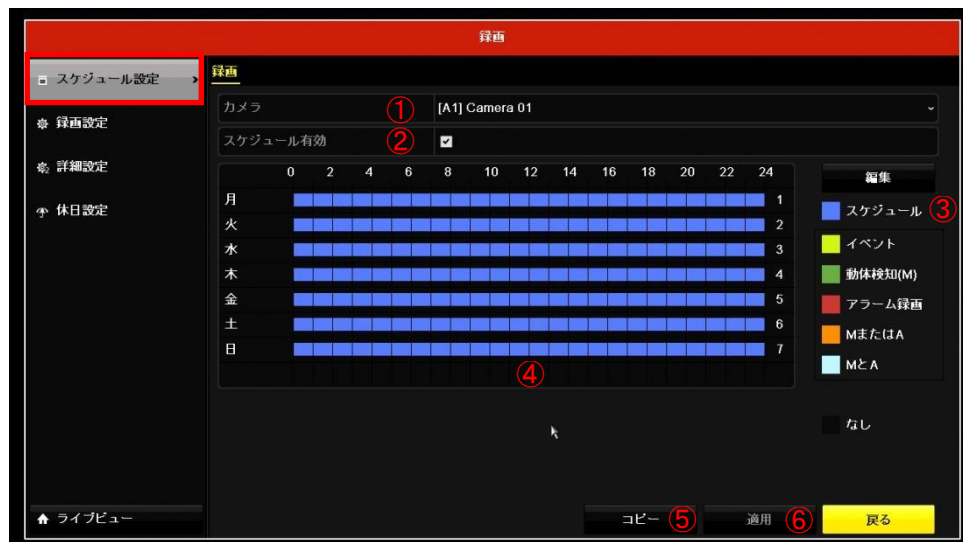
2. 録画スケジュールの設定

(1) メニュー画面より「録画」を選択します。



(2) 「スケジュール設定」画面にて設定を行います。

- ① 設定するカメラを選択します。
- ② 「スケジュール有効」にチェックをします。
- ③ スケジュール録画を選択します（矢印がペンの形に変わる）。
- ④ スケジュール範囲をドラッグで指定します。
- ⑤ 他のカメラに同じスケジュールを適用する場合は「コピー」を選択します。
- ⑥ 設定完了後、「適用」ボタンを選択します。



- (3) 録画が開始されると、画面右上に赤のカチンコマークが表示されます。



3. 動体検知の設定方法

- (1) メニュー画面より「カメラ」を選択します。



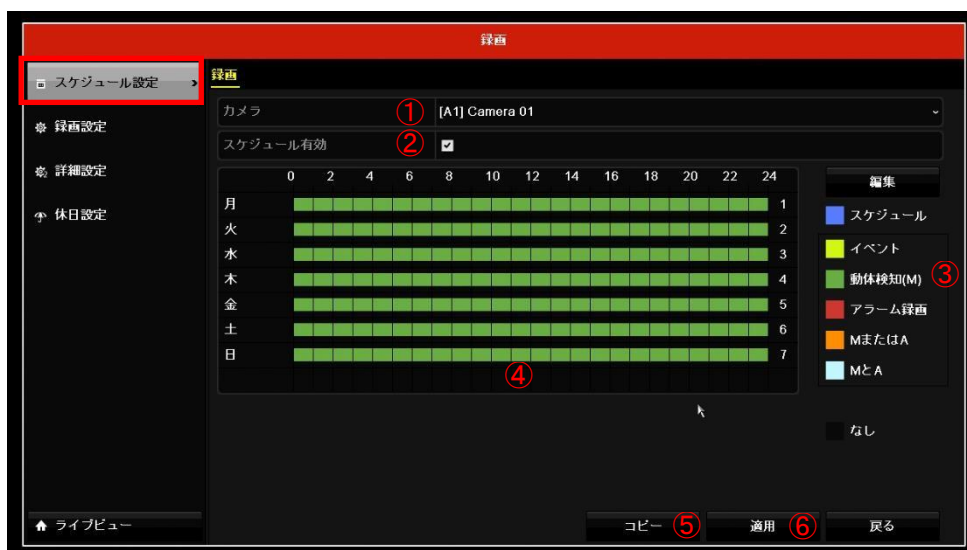
- (2) 「動体検知 (M)」画面にて設定を行います。
- ① 設定するカメラを選択します。
 - ② 「動体検知有効」にチェックします。
 - ③ 必要に応じて処理方式を設定します (動きを検知した際に DVR で音を鳴らす等の設定)。
 - ④ 感度を設定します (左側の感度が低く、右側が高い)。
 - ⑤ 検知範囲を全範囲に設定します (範囲を限定する場合はドラッグで指定します)。
 - ⑥ 検知範囲をクリアする場合に選択します。
 - ⑦ 設定完了後、「適用」ボタンを選択します。



- (3) メニュー画面より「録画」を選択します。



- (4) 「スケジュール設定」画面にて設定を行います。
- ① 設定するカメラを選択します。
 - ② 「スケジュール有効」にチェックをします。
 - ③ 動体検知を選択します（矢印がペンの形に変わる）。
 - ④ スケジュール範囲をドラッグで指定します。
 - ⑤ 他のカメラに同じスケジュールを適用する場合は「コピー」を選択します。
 - ⑥ 設定完了後、「適用」ボタンを選択します。



- (5) 動体検知などのイベントが発生した際に、画面右上に黄色いベルマークが表示されます。



4. カメラ名称の変更

- (1) メニュー画面より「カメラ」を選択します。



(2) 「OSD」画面にて設定を行います。

- ① 設定するカメラを選択します。
- ② カメラの名称を入力します（英数字）。
- ③ 日付、時刻、曜日、名称の表示を ON/OFF します。
- ④ 年月日と時刻の記載方法を選択します。
- ⑤ 文字の透明/不透明、点滅/点灯を選択します。これは画面上の文字を表示する際、見やすくするため、色を自動的に変える機能です。
- ⑥ 設定完了後、「適用」ボタンを選択します。



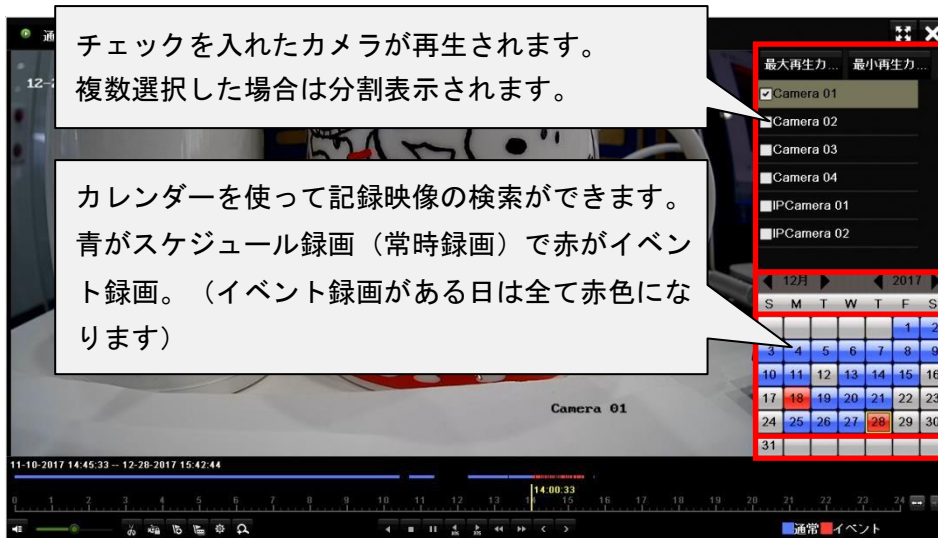
9. DVR 再生方法

1. 録画再生方法

- (1) ライブビュー上で右クリックをすると、簡易メニューが表示されます。
「再生」を選択します。



(2) 再生画面が表示されます。



操作ツールバーの説明





操作用ツールバーの説明

番号	説明
①	音声ミュートの ON/OFF を設定します。
②	オーディオボリュームを設定します。
③	切り取りの開始/停止を行います。
④	ファイルのロックを行います。
⑤	デフォルトタグの追加を行います。
⑥	カスタムタグの追加を行います。
⑦	ビデオクリップ、キャプチャ画像、ロック済ファイル、タグのファイル管理を行います。
⑧	ズームインを行います。
⑨	逆再生/一時停止を行います。
⑩	停止を行います。
⑪	再生/一時停止を行います。
⑫	30 秒巻き戻しを行います。
⑬	30 秒早送りを行います。
⑭	再生速度のスピードダウンを行います。
⑮	再生速度のスピードアップを行います。
⑯	前日へ移動
⑰	翌日へ移動

10. DVR 記録映像のエクスポート方法

1. DVR 本体にUSB メモリ・USB HDD 等のバックアップデバイスを差し込んで下さい。
※ : USB 機器の対応フォーマットはFAT・FAT32・NTFS となります。exFAT は未対応です。
2. ライブビュー上で右クリックし、「メインメニュー」を選択します。



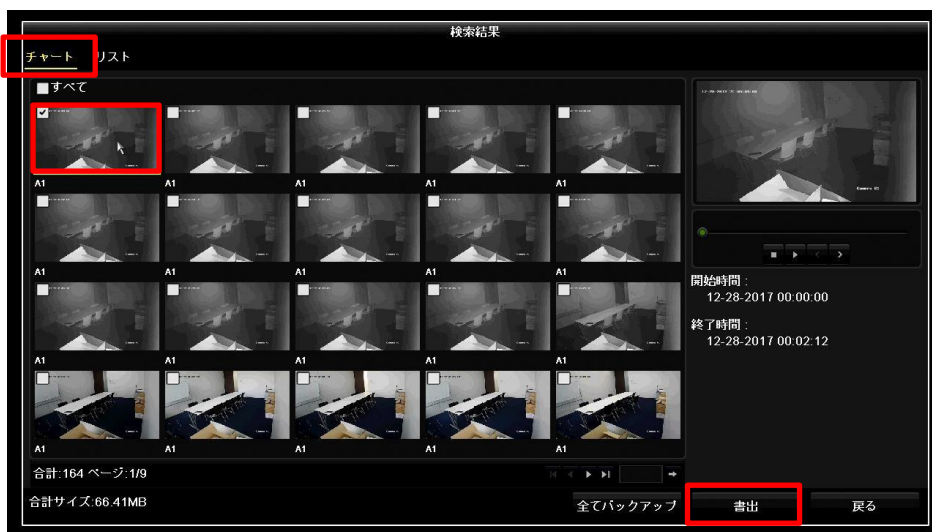
3. メニュー画面より「書出」を選択します。



4. エクスポートする対象のカメラを選択及び検索期間を指定し「検索」ボタンを選択します。



5. 検索結果が表示されます。検索結果はチャートとリストで確認できます。エクスポートするファイルにチェックを入れ「書出」ボタンを選択します。



6. エクスポートしたい映像の保存先を選択します。

「書出」を選択後、「映像とログ」にチェックを入れ、エクスポートして下さい。

※：フォルダを作成してエクスポートしたファイルを管理しやすくする事をお勧めします。



7. 映像ファイルは「mp4」形式でエクスポートされますので、「mp4」の動画ファイルを再生できるソフトで閲覧して下さい。

11. GUID のエクスポートとパスワードリセット

ログインユーザーのパスワード設定後に“GUID”というファイルをエクスポートしておくことでパスワードを忘れてしまった場合でも、このファイルをインポートすればユーザ側でパスワードの再登録を行うことができます。

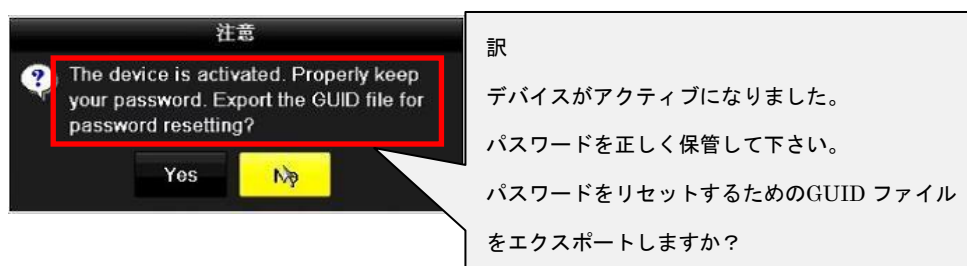
一度エクスポートした GUID はユーザーパスワードを変更するまで使用できます。パスワード変更後は新しい GUID をエクスポートして下さい（同じパスワードを再登録した場合でも古いGUID は使用できなくなるため、新しい GUID をエクスポートする必要があります）。

1. 「GUID」のエクスポート

「GUID」のエクスポートは下記の 3 通りで行えます。

(1) DVR 初期起動時のパスワード設定後にエクスポート

- ① GUID を保存するためのUSB メモリ等を DVR に差し込みます。
- ② 初期起動時にパスワードを設定して「OK」ボタンを選択すると、下記のメッセージが表示されるので「Yes」ボタンを選択します。



- ③ USB メモリ内でファイルの保存先を指定して「書出」ボタンを選択します。



- ④ エクスポートが終わると下記メッセージが表示されるので「OK」ボタンを選択します。



- ⑤ GUID ファイルが出来ていることを確認します。



(2) 起動時のウィザードでエクスポート

「ウィザード有効」と「オペレーションパスワード」にチェックが入っている場合、DVR再起動後に表示されるセットアップウィザードで GUID をエクスポートできます。管理者パスワードを入力してから“Export GUID”を選択します。“Export GUID”を選択以降は、「1. DVR 初期起動時のパスワード設定後にエクスポート」と同様です。



(3) ユーザー設定でエクスポート

メニュー>設定>ユーザー設定を開き、GUID をエクスポートしたいユーザの編集を選択します。“現在のパスワード”を入力してから“Export GUID”を選択します。“Export GUID”を選択以降は、「1. DVR 初期起動時のパスワード設定後にエクスポート」と同様です。



2. 「GUID」によるパスワードリセット

ログインパスワードを忘れた場合、USB メモリ等に保存したGUID を使用してパスワードリセット（パスワード再登録）を行うことができます。

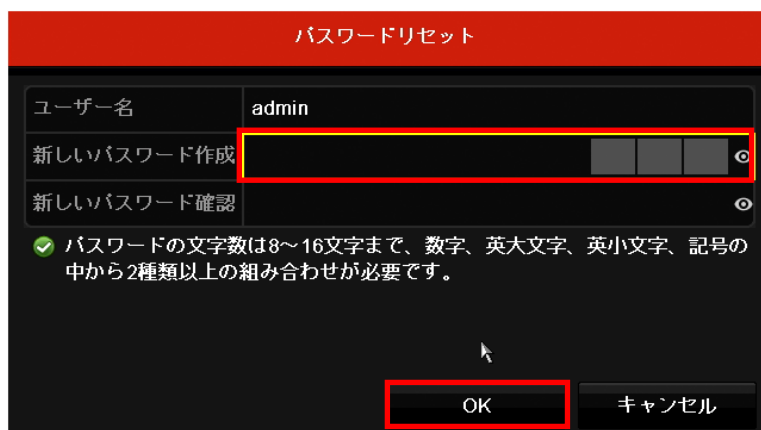
- ① GUID の保存されている USB メモリ等を DVR に差し込み、ログイン画面左下の“パスワードを忘れた場合”を選択します。



- ② USB メモリの中が表示されるのでGUID を選択して「読込」ボタンを選択します。



- ③ 新しいパスワードを設定できる画面が表示されるので、パスワードを設定して「OK」ボタンを選択します。



- ④ パスワードリセットを行ったので先程の GUID は使用できなくなったため、新しい GUID をエクスポートする事を促すメッセージが表示されますので、「OK」ボタンを選択します。



- ⑤ 以上でパスワードリセットは完了です。
※：忘れずに再度新しいGUID をエクスポートする事を強く推奨します。

12. 初期出荷状態の復元

1. 初期出荷状態の復元

(1) メニュー画面より「メンテナンス」を選択します。



(2) 「初期値」→「工場出荷時設定」を選択します。



13. Hik-Connect の設定

Hik-Connect（以降、HC と記載する）とは、スマートフォンやタブレットでカメラ映像等を確認することができるアプリケーションです。

1. HC のアカウント登録方法

(1) モバイルアプリをインストールします。

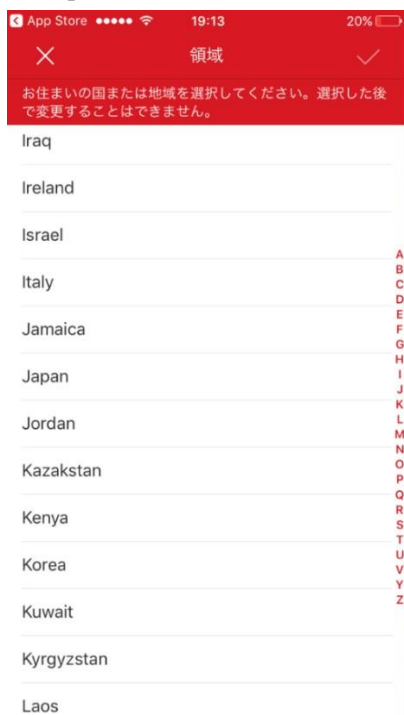
スマートフォン等で、アプリ名「Hik-Connect」をダウンロードして下さい。



(2) アプリを起動し、「国・地域を選択」を選択します。



(3) 「Japan」を選択し、右上のマークを選択します。



(4) 「ログイン」を選択します。



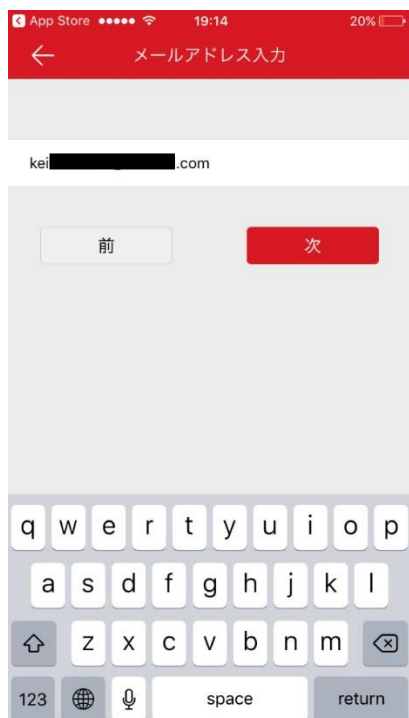
- (5) 新規にアカウントを作成するため、「アカウントの登録」を選択します。



- (6) 携帯電話番号で登録する場合は「携帯電話番号で登録」を選択します。
E メールアドレスで登録する場合は「E メールアドレスで登録」を選択します（以降の説明は「E メールアドレスで登録」を選択した場合の説明となります）。



(7) アカウントに使用するメールアドレスを入力し、「次」を選択します。



(8) 登録したメールアドレスに認証コードが送信されますので、コードを確認して入力します。

※：30分以内に認証コードを入力して下さい。



送信メール内容

メール本文の“5695”の部分が認証コードになります。



【user information】 Verification code: 5695, expires in 30 minutes.

- (9) アカウントに使用する「ユーザ名」と「パスワード」を入力します。



- (10) 「終了」を選択すると、アカウント登録が完了します。

2. レコーダーの登録方法

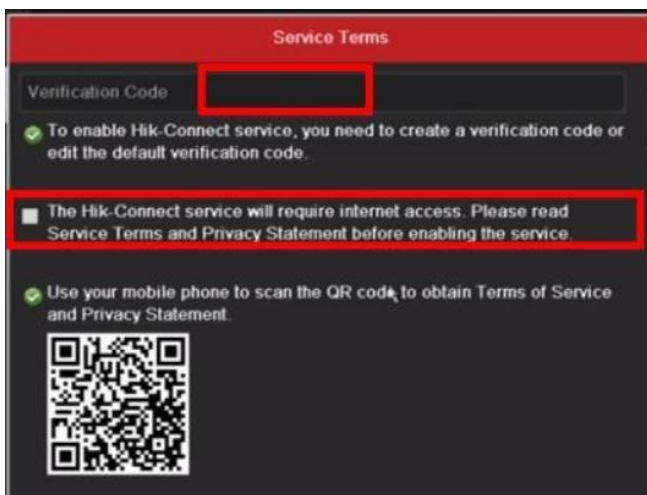
- (1) 接続するレコーダーの設定を行います。
メニュー画面より「設定」を選択します。



- (2) 「ネットワーク」→「プラットフォームへのアクセス」を選択し、「有効」にチェックします。



- (3) 「Verification Code」欄に、6文字～12文字の任意の番号を入力します。



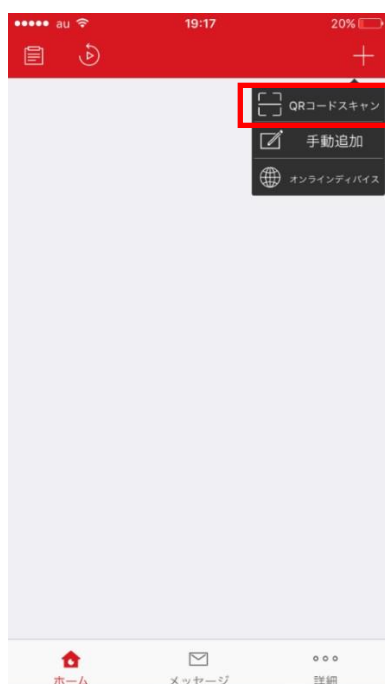
- (4) レコーダーの設定が有効になり、ステータスが「オンライン」になります。



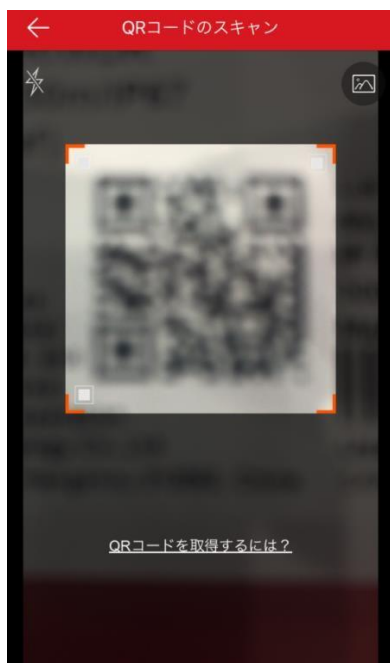
- (5) モバイルアプリを起動します。
 「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、ログインします。



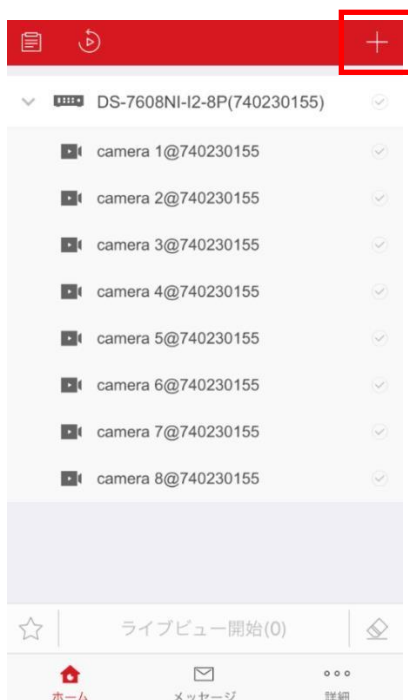
- (6) レコーダーを登録するため、**+**マークを選択し、「QRコードスキャン」を選択します。



- (7) レコーダー設定画面に表示されている QR コードを読み込んで下さい（レコーダー設定画面につきましては、(4)の画像を参照して下さい）。



- (8) モバイルアプリにレコーダーが登録されます。
右側のチェックボックスをオンにするとアクセスを開始します。



- (9) これでレコーダーの登録が完了します。
モバイルアプリの操作方法は別紙を参照して下さい。

3. レコーダーの共有設定（1 台のレコーダーを複数のモバイルアプリで閲覧する場合）

- (1) 最初に、レコーダーを共有するユーザ側の設定を行います。
モバイルアプリを起動し、ホーム画面の「詳細」を選択します。
表示された画面の「共有設定を管理する」を選択します。



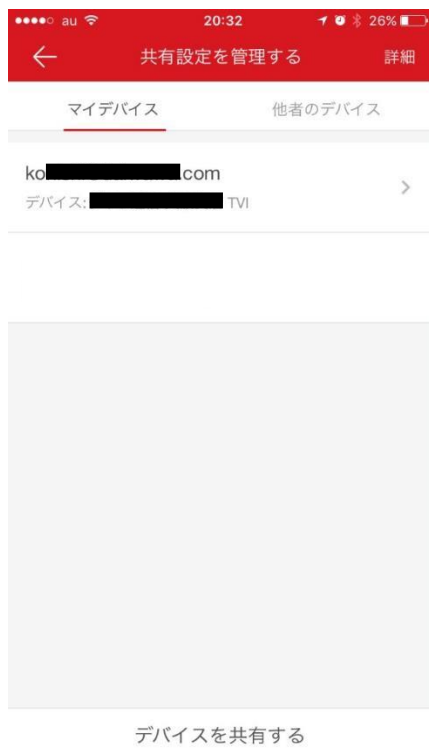
(2) 「デバイスを共有する」を選択します。



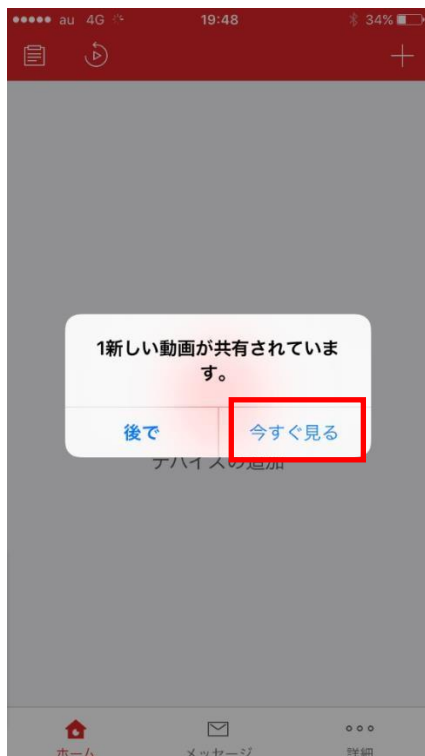
(3) 共有する相手の Hik-Connect のアカウントで利用しているメールアドレス、または携帯電話番号を入力し、「保存」を選択します。



(4) マイデバイスの欄に(3)で設定した相手の名前が表示されます。



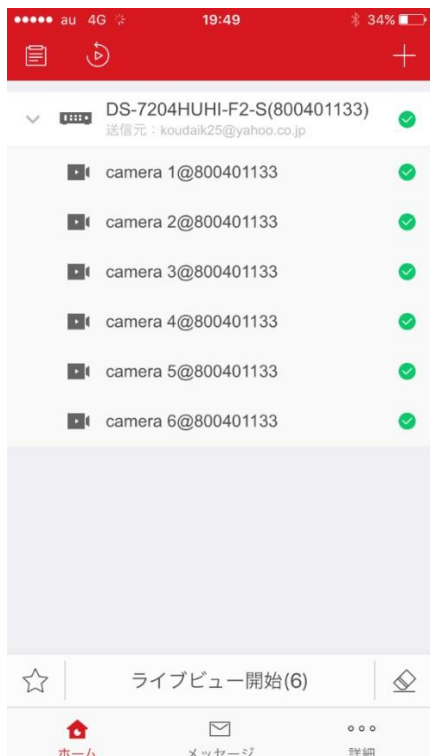
- (5) 次に、レコーダーを共有してもらったユーザ側の設定を行います。Hik-Connect にログインすると、共有されている旨のメッセージが表示されますので、「今すぐ見る」を選択します。



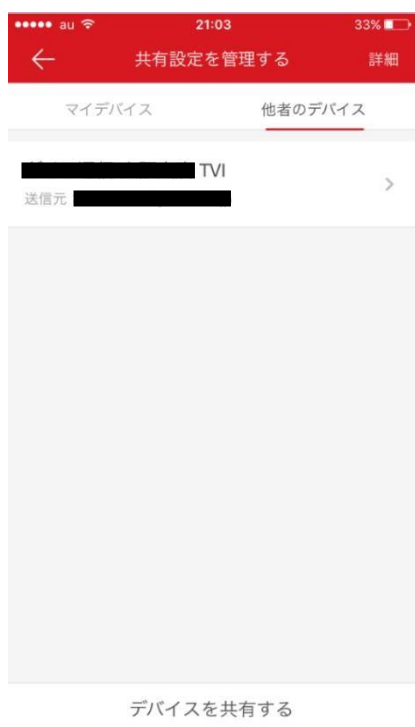
(6) 共有されているレコーダー名が表示されますので、「受諾」を選択します。



(7) これで共有完了です。ホーム画面にレコーダーが表示されます。



- (8) 「詳細」から「共有設定を管理する」を選択すると、共有されているレコーダー名が表示されます。



- (9) これでレコーダーの共有設定が完了です。

4. パスワードリセットの方法

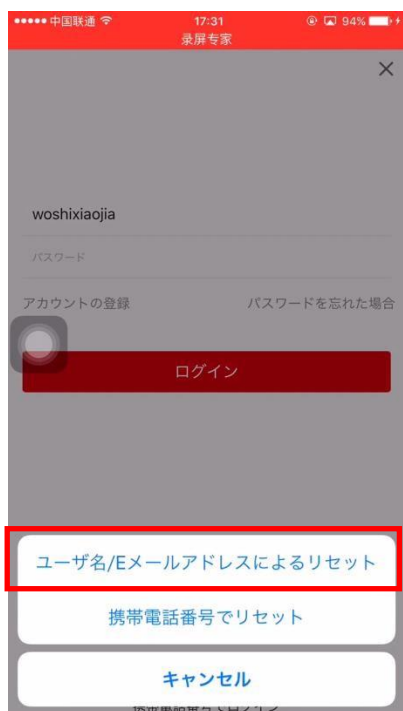
HC のパスワードリセット方法は下記の 3 通りで行えます。

(1) HC のアカウントがメールアドレスの場合

- ① モバイルアプリを起動し、「パスワードを忘れた場合」を選択します。



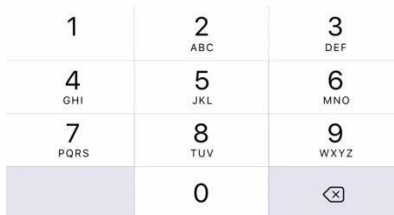
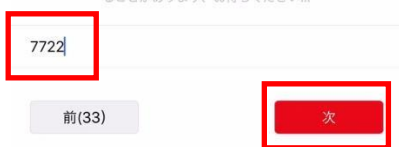
- ② 「ユーザ名/E メールアドレスによるリセット」を選択します。



- ③ 登録しているメールアドレスを入力し、「次」を選択します。



- ④ 認証コードがメールアドレスに送信されますので、その認証コードを入力し、「次」を選択します（認証コードにつきましては、P.51「1. HC のアカウント登録方法」の(8)を参考にしてください）。



- ⑤ 新しく設定したいパスワードを入力し、「送信」を選択します。



- ⑥ これでパスワードリセットは完了です。



(2) HC のアカウントがユーザ名の場合

①～②は(1)と同様の手順となります。

③ 登録しているユーザ名を入力し、「次」を選択します。



④～⑥は(1)と同様の手順となります。

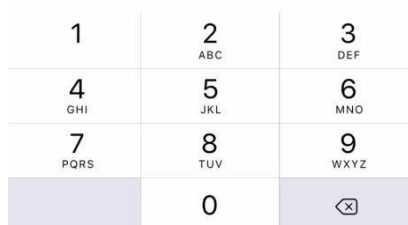
(3) HC のアカウントが携帯電話番号の場合

①は(1)と同様の手順となります。

② 「携帯電話番号でリセット」を選択します。



- ③ 認証コードが携帯電話に送信されますので、その認証コードを入力し、「次」を選択します。



- ④～⑤は(1)の⑤～⑥と同様の手順となります。